

平成21年度採択 文部科学省 大学教育推進プログラム（GP）
英米学科「多文化社会における英語による発信力育成」

第1回講演会（言語学）

Language: English

Dr. Christopher Tancredi（慶応義塾大学）

Condition B as an Epiphenomenon

生成文法では、Chomskyが1981年に提案した理論によって、名詞句を再帰形などの「照応形」、「代名詞」、「指示表現」という3種類に分類し、それぞれがいつ使用できるのかについて、条件A、条件B、条件Cという3つの条件（「束縛条件」と言います。）を用いて説明してきました。今回のTancredi先生のお話では、最新の言語理論の視点からこれを見直し、代名詞に関する「条件B」は束縛条件として仮定する必要は無いということを提案されます。

「理論言語学」とはどのような学問なのか、私たちが普段無意識に使っている言語の背景にはどのような仕組みが隠されているのか、最先端の言語学研究では、どのような研究がなされているのか等、言語学を専門とする人達以外にも是非聞いて欲しい講演です。また、すべて講演は英語で行われますので、専門的な内容を英語で聞く、まさに「英語を学ぶではなく、英語で学ぶ」良い機会です。多くのみなさんの参加を期待します。

英米学科長

英米学科生以外の方もご参加いただけます。（予約不要、入場無料）

日時：1月18日（月）15時15分～16時45分
会場：南山大学M棟MB1教室

主催：南山大学外国語学部英米学科
問合せ先：英米学科GP事務局
Tel: 052-832-3111 (内線3504)
Email: eibei-gp@nanzan-u.ac.jp